



の市民団体紹介

応援します
市民力。

市内で活躍する元気な団体・サークル・同好会を紹介するコーナーです。
活動内容やイベント情報など、編集部までお知らせください。

- ◆会費（個人会員）：入会金2000円、年会費4000円
- ◆カフェ☆かたつむり：会員無料、ピジター300円／1回、由井市民センターみなみ野分館で10～12時。
- ◆個別サポート：相談の場合、90分3000円／1回、同行支援は2時間以内4000円
- ◆問い合わせ：(683)0507（平日9:30～17:00）
decoboco-katatsumuri@katatsumuri2007.org

NPO法人かたつむり

凸凹しているみんなとともに

落ち着きがなく動き回る、集団のなかでみんなと関われない……「発達障がい」とくくられてしまふ子どもたちを、NPO法人「かたつむり」では「発達に凸凹のある子ども」と表現しています。

「障がい」といつてしまうと不安になつてしまうけれども、「凸凹」といえば一歩踏み出すことができると語るのは、発足時から代表、西村南海子さん。西村さんが活動をスタートさせたのは、発達に凸凹を抱えていた息子さんを市内幼稚園に通わせること。同じような境遇にある家族が、10名ほどのメンバーで2007年に「かたつむりの会」を発足しました。2013年にはNPO法人に移行し、現在の会員数は約100名になります。

会の活動のなかで最も重要なのは、月に2、3回、由井市民センターみなみ野分館で開催している「カフェ☆かたつむり」という茶話会。これは凸凹を



▲「カフェ☆かたつむり」のようす

抱えた子どもをもつ親同士がゆったりとした雰囲気の中で自由に話し合い、情報交換をするという、発足当初から続く取り組みです。ほかにも個別相談や、学校・園・医療機関との面談への同行支援、未就学児対象の「わんぱくキッズ」、小・中学生対象の「キッズ・ラボ」という通所施設も開いています。こうした交流を通じて、子どもたちだけでなく、親にも変化が現れてくるそうです。「特に凸凹の強い子は大変な面もあるけれど、そのおかげで様々な出会いも生まれているんです」と、自身の経験を振り返る西村さん。「地域のなかに「学ぶ場・育つ場」をつくっていきたい」と抱負も語り、これからは凸凹を抱える子どもたちにも寄り添ったサポートを展開していくと意気込んでいます。

大久保長安を知るための

3 ステップ

揺籃社

知る 1 初心者向け
絵本



長安さまのまちづくり
—八王子のまちをつくった
大久保長安—

吉田美江 文・長野美穂 画
A4判 28頁 フルカラー
1800円+税

学ぶ 2 各地研究者
の講演録



大久保長安に迫る
—徳川家康の天下を
支えた総代官—

村上直、馬場憲一、仲野義文、濱野浩、大宮守友 共著
A5判 64頁+カラーグラビア16頁
900円+税

深める 3 長安研究の
決定版



論集
代官頭大久保長安の
研究

村上直 著（馬場憲一 編）
A5判 448頁
2800円+税

※ここは「はちとぴ」を応援して下さっている方々に自由に使用していただくフリースペースです。今回は「大久保長安の会」です。

八王子の民俗誌 ⑥

日本民俗学会会員 佐藤 広

八王子のまちの起源伝承——牛頭天王の祭り



▲八幡八雲神社 (2015年8月撮影)

明治政府の神仏分離令で、牛頭天王は八雲神社と名称を変え、八幡社に合わせて祀るかたちで八幡八雲神社と なって今日へと続く。つまり、江戸時代の牛頭天王の祭りは、八王子城下から移転した八王子のまちの起源伝承を伝えるもので、これが「八王子まつり」の原点といえる。

八王子市中心部の市街地は、天正18年(1590)に落城した八王子城下から引越したまち、と伝わる。元八王子や八王子という地名が、まちの歴史を今に伝えている。まち移転の歴史は、江戸時代の八王子宿の発展とともに醸成され、江戸時代末の幕府の地誌編さんをきっかけにまとめられたものと思われる。

味がある。地域史研究では、千人同心が八王子城下から千人町に移った文禄2年(1593)に、八王子宿が完成したとみている。文禄2年は、今の千人町周辺のまちづくりが完成したことで、下の横山宿周辺は、それより遅れて4年後の慶長2年に宿としての姿を整えたと私は理解したい。御神体の漂着はまちの始まりを象徴している伝承である。

牛頭天王は万治2年(1659)、本宿・新町・横山宿に加え、八日市宿が新たに氏子となって大祭を行い、祭礼儀式や鉾・獅子頭・太鼓・長刀・幕などの祭具も整った。牛頭天王を祀り始めた慶長2年から約100年後の元禄11年(1698)にも大祭が行われた。その元禄11年ころは、十八代官がすでに江戸に転居し、政治・行政の武士中心のまちから、商業の町人中心のまちへと八王子が変化した画期となる時期である。享保13年(1728)には、現在の氏子範囲と同様となつて大祭を行っている。

八王子の原風景 ⑥

元・八王子市市史編さん研究協力員 馬場喜信

兵衛川——宇津貫六谷戸

浅川の支流湯殿川の、そのまた支流に兵衛川(ひょうえがわ)がある。その名はなにやらゆかりの人物から採られたかと思わせるが未詳。片倉城跡公園の近くで湯殿川から南へ分かれて多摩丘陵の稜線まで、流域は思いのほか広く深かった。江戸時代から武蔵国多摩郡宇津貫村の地で、戦後に八王子市に合併した後もそのまま宇津貫町としてつづいてきた。中央部を国鉄横浜線が走り抜けていたが長らく最寄りの駅はなく、近隣で大規模開発が進むさなかにも景観は変わらず、市内に最後まで残された村の行まいだった。

谷筋の入口近くの高台に立ち南西方向を望むと、奥へ深まる流域の左右から小さな丘の先端が幾重にもおりかさなつて落ちこみ、その深々とした景観は古人が詠った「たたなずく青垣」とはこうした風景のことだったのだろうと感嘆させられた。地図を広げ地形の構成を見ると、六つの谷戸が村の中央部で落ち合つて盆地の小世界をつくりだしている。人工の構造物とはいえないが、当時はまだ単線だった横浜線の鉄路が谷筋にそつてめぐり、丘陵の下をトンネルで抜けてゆくだけ。東京近郊では希少となつてしまった里山の風景が、村の全域に広がっていた。

六つの谷戸の名は、下谷戸・菖蒲谷戸・君田谷戸・閑道谷戸・中村谷戸・和田内谷戸。「宇津貫六谷戸」と呼び慣わされてきたという。その名の由来があれこれと浮かんでくるような文字の並びだ。

この六谷戸の全域を包み込む大規模な開発構想が住宅・都市整備公団(当時)により昭和55年(1980)にまとめられた。首都圏最大級のプロジェクトといわれ、市内における大規模住宅地開発の掉尾ともなつた事業、つた。昭和63年10月工事着工、平成9年(1997)4月「八王子みなみ野ンテイ」の街開き、平成20年3月工事を終え、平成25年3月すべての事業が完了した。

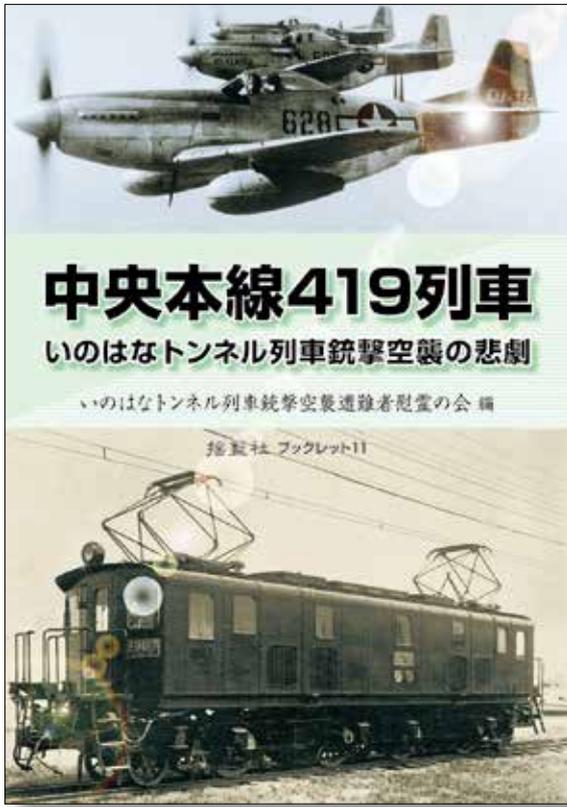


▲兵衛川源流七国峠を望む(1975年11月8日撮影)

私の本はこうして生まれた

其の四十

『中央本線419列車 — いのはなトンネル列車銃撃空襲の悲劇』 いのはなトンネル列車銃撃空襲遭難者慰霊の会 編



1945年（昭和20年）8月5日、中央本線いのはなトンネルでアメリカ軍機P51による列車銃撃空襲がありました。犠牲者数は、当時の単独の列車への銃撃空襲としては最も多い52名。本書は長年の調査で得られた証言、最新の情報をふんだんに取り入れながら、この悲惨な空襲の実像を多角的にまとめています。体験者や直接故人を知る方も少なくなる中で、419列車の銃撃空襲の惨禍を後世に伝えるために、ぜひ手にとっていただきたい1冊です。

このたび、本会は中央本線419列車空襲の悲劇についてまとめた念願のブックレット『中央本線419列車』を刊行することができました。本会は1984年8月の結

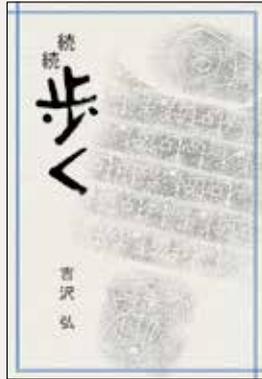
成以来、毎年8月5日にこの空襲の犠牲者への慰霊の集いを開催しており、今年で35回目を迎えました。この間、「戦死死者供養塔」を現在地に移し（1986年）、東京八王子南ロータリークラブのお力添えにより「供養の碑」を建立（1992年）しました。また、最近では旧甲州街道脇に入口の碑を建立（2017年）、説明板（案内板）をやはり東京八王子南ロータリークラブのお力添えで入口の碑の脇に建立（2018年）するなど、碑・モニュメントの設置は一つの区切りができました。一方、戦後73年が経ち、空襲の体験者から当時の体験を直接伺うことが難しくなってきました。慰霊の集いでもこの空襲の惨禍を乗客・遺族として証言される方が少なくなりました。そこで本会では、これを本という形で残し、伝えたいと考え、2年間編集をすすめてきました。ページの都合上、出典は記しませんが、内容は体験記に書かれたり、私たちに語ってくれたりした「事実」です。P51の飛来状況、419列車の運行状況などに関係者の日記や日米の公的史料に基づいています。乗客の1人だった森正蔵毎日新聞記者の日記により、この空襲の惨禍を具体的に

に明らかにすることができました。P51については、最初の銃撃をしたグラント大尉の証言や462戦隊の飛行コースの推定など、最新の調査・研究も盛り込みました。戦争の惨禍は場所も人も選ばれません。敗戦のわずか10日前、高尾山の北の静かな山間部を走っていた列車で起きたこの空襲の惨禍を、多くの方に知っていただきたいと思います。（編者記）

『中央本線419列車—いのはなトンネル列車銃撃空襲の悲劇』
定価600円＋税 摇篮社刊
A5判・64P＋口絵2P
※本書をお求めの際は、お近くの書店か当該編集部までどうぞ。

※このコーナーで紹介する自費出版本を募集しています。紹介してほしい本がありましたら、ご一報を。

著者のエッセイ集「歩く」シリーズ3冊目。「歩く」というタイトルが表しているように、著者自ら歩くことで見聞きしたもの、感じたものを記録した珠玉のエッセイ39編がまとめられています。特にライフワークとしている街道歩き（今回は奥州街道）や中央線沿線の古書店探訪では石川啄木や宮沢賢治、古書への思い入れが、ついつい強くなって多くのページを割いています。著者の興味・関心の強さが滲み出ているところはご愛嬌。表紙や本文には奥様によるイラストが花を添え、文章全体に奥行きを与えています。繰り返し読めるエッセイ集です。



続 歩く

吉沢 弘・著
★私家版
★四六判・258ページ
※本書は私家版です。詳細は当誌編集部まで。著者をご紹介します。

1990年代半ばごろより世界的に社会運動の質に変化が生じて、世紀転換期当初は「ネットワーク型」の社会運動が拡大、その後2010年代からは「クラウド型」が登場して、SNSを駆使して数十万人規模の街頭行動が実施されるようになりました。本書は、このような現象の背景にある、資本主義システムの変化やそれに伴う「変革主体」の変容を、「グローバル・サウス」の概念を軸に検証していきます。さらに、世界的に拡大している代表制民主主義の形骸化や政治の劣化を克服してゆくための、新しい方向性の考察にも重点が置かれています。



グローバル・サウスにおける「変革主体」像 ——「21世紀型」社会運動の可能性

小倉英敬・著
★摇篮社・発行 定価2800円＋税
★A5判 270ページ
※本書をお求めの際は、お近くの書店でご注文いただくか、当誌編集部までお問い合わせください。

わがまち八王子探訪シリーズ「由井」(仮)

次号予告

次号からの「はちとび」はこれまでと少し趣向を変えて、市内の特定の地域の情報に絞って、各地の“いま”をご紹介しますシリーズをスタートさせます。記念すべき第1回目の地域は「由井」。八王子ニュータウンが誕生するなど、ここ20年で大きく変貌した町のようなすを取材します。情報をお寄せください。

第41号(新風号)は
1月1日発行予定



広告募集中!

「はちとび」は10,000部を発行、右記の場所に配布いたします。八王子市民にアピールしたい商品やサービスの広告にピッタリ。是非、協賛ください。

提携店募集中!

お客さんとのコミュニケーションツールにしたり、待ち時間の合間に雑誌感覚で読んでもらったりと、利用方法はさまざま。「はちとび」を新サービスとしてご活用ください。

お問い合わせはこちら

摇篮社(清水工房内)
はちとび編集部

TEL (620) 2615
FAX (620) 2616
E-mail info@simizukobo.com

「はちとび」の置いてあるところ

公共施設

八王子観光コンベンション協会
八王子商工会議所
八王子市郷土資料館
八王子市中央図書館
八王子市川口図書館
八王子市南大沢図書館
八王子市生涯学習センター図書館
八王子市絹の道資料館
八王子市役所産業振興部
八王子市役所スポーツ振興課
道の駅「八王子滝山」
サイエンスドーム八王子
八王子クリエイティブホール
八王子市学園都市センター
八王子市民活動支援センター
八王子市子ども家庭支援センター
八王子市芸術文化会館いちようホール
八王子市教育センター
八王子市東浅川保健福祉センター
八王子市南大沢事務所
八王子市南大沢文化会館
八王子市生涯学習センター 南大沢分室
八王子セミナーハウス
長池公園自然館
高尾山599ミュージアム
タやけ小やけふれあいの里
市内各市民センター

お店・企業・学校

アート八王子
アクサ生命
南赤坂商店
御菓子司 旭苑
吾妻寿し
アメニティーライフ八王子
南荒物加島屋
一刻芸術会館
小俣ダンススタジオ
café de la poste
cafe rin
金子商店
喫茶店 KAFFA
ギャラリー・スペースことのは
京晴楼
くまざわ書店
くまざわ書店西八王子店
㈱クラブS保険サービス
グループホームびおら
敬愛保育園
啓文堂高尾店
啓文堂南大沢店
工学院大学
小谷野紙店
南埼玉本店
和食 坂福
等 坂本クリニック・坂本医院

J A八王子ふれあい市場
シダックス西八王子クラブ
シミズパーク24
首都大学東京
Tea&Pasta July July
スマイルこどもクリニック
㈱スリーポンド
せいがの森保育園
セブンイレブン八王子北口店
創価大学
高尾の森わくわくビレッジ
拓殖大学
そば・うどん 玉川亭
たましん散田店
多摩美術大学
中央大学
ドイツのコーヒー屋さん
東京家政学院大学
東京工科大学
東京工業高等専門学校
東京純心大学
東京造形大学
東京薬科大学
とみりえ
中野屋商店
南中村自動車
㈱日住
ねずみのこと
ハーモニーネット

はちねこ!カフェ
八王子エルシィ
八王子学園八王子高等学校
八王子自動車学校
八王子市役所売店「はっち」
八王子消化器病院
㈱富士屋
ふもとや
Coffee Bricks
㈱フロリストシマダ
法政大学
松姫本店
南峰尾豆腐店
みやま大樹の苑
明星大学
嶺山六
有隣堂 CELEO 八王子店
ヨセタニ写植 等

その他団体など

サイバーシクロロード八王子
八王子法人会
八王子市医師会
八王子市職員等事業本部
八王子自治研究センター
八王子センター元氣
八王子いちよう祭り祭典委員会
墨のアトリエ墨童舎
定期読者約1000名 等

はちとび <9月~12月>
イベント
カレンダー

9月							10月							11月							12月																	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土											
					1	2	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
9	10	11	12	13	14	15	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	
★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	
★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	

情報募集中

9/23 (日) **八王子フィルハーモニー合唱団**
合唱で謡うオペラ・アリア 椿姫
市内を中心に活動する混声合唱団の演奏会。昨年の「カルメンを謡う」に続き、指揮者・角岳史によるオペラ・アリアの日本語合唱編曲版を演奏します。皆様おなじみの名曲の新しい魅力をお楽しみください。

会場：南大沢文化会館主ホール
開演：14:00
料金：1000円

問 八王子フィルハーモニー合唱団
☎ 090 (8941) 5508 (佐藤)

9/26 (水) **滝山城ボランティアガイド養成講座**
滝山城跡のボランティアガイドを養成するための全6回の講座。第1回は中田正光氏による「よみがえる滝山城 (滝山城入門)」。募集定員20名程度。要事前申込 (申込多数の場合は抽選になります)。

会場：八王子市加住市民センター・多目的室1
時間：13:00~16:45 (各回変更あり)
原則無料 (一部資料代、交通費は受講者負担)

問 NPO法人 滝山城群・自然と歴史を守る会
☎ 090 (4700) 6854 (尾熊)

10/5 (金) ~ 10/9 (火) **第19回 八王子古本まつり**
今回は「染める」をメインテーマにしながら、関連書籍の販売、音楽ライブ、チャリティ販売会などを開催。福祉系のゆるゆるテント、企業系のまちみせ横丁も充実の内容です。

会場：八王子駅北口西放射線ユーロード
時間：10:00~19:00

問 八王子古本まつり実行委員会
☎ (684) 9119 (古書げんせん館)

10/14 (日) **第40回 音楽芸術フェスティバル**
市民参加の音楽祭。箏、独唱、フルート三重奏、クラリネット独奏など、多彩な演者が自慢の曲目を奏でます。今年のゲスト出演は田中三佐代 (ソプラノ) & 西野優子 (ヴァイオリン)・河原奈美 (ピアノ)。

会場：オリンパスホール八王子
開場：13:00 開会式：13:30 開演：14:00
入場無料 (但要整理券)

問 音楽芸術フェスティバル推進委員会
☎ (623) 5547 (宮崎)

11/4 (日) **冬になる前のコンサート *46**
「八王子を音楽の街に」を合言葉に、幅広い年齢層の団員で構成された吹奏楽団が送る定期演奏会。今回は第1部「吹奏楽の響き」、第2部「アニメ音楽特集」として老若男女が楽しめる曲をお送りします。

会場：オリンパスホール八王子
開場：13:00 開演：13:30
入場無料

問 八王子市民吹奏楽団
☎ (648) 7346 (森)

11/24 (土) **第31回 箏・三絃・尺八 三曲演奏会**
箏・三絃 (三味線)・尺八の邦楽器の演者が集う八王子三曲連盟が開く年に1度の演奏会。子どもたちも多数参加し、童謡・古典・新曲・現代曲を幅広く演奏します。曲目は「真珠伝説」など。

会場：いちょうホール (小ホール)
開場：11:30 開演：12:00
入場無料

問 八王子三曲連盟
☎ (624) 2238 (小川)

11/29 (木) ~ 12/2 (日) **第9回 八王子中学生絵画展**
八王子市内の公立・私立中学校で選抜された生徒の作品 (主に絵画) を展示します。作品のテーマは「中学生の主張」。「文化の街 八王子」の次世代を担う中学生の作品をぜひご鑑賞ください。

会場：八王子市学園都市センター第1・第2ギャラリーホール
時間：10:00~18:00 (最終日は17:00まで)
入場無料

問 八王子中学生絵画展推進委員会
☎ (651) 7192 (中井)

12/8 (土) ~ 12/9 (日) **八王子シアタープロジェクト 第11回公演 『橙色の嘘』**
閉院を決めた院長。看護婦がついた突然の嘘。素直に心を見つめれば嘘はやがて橙色……。平石耕一作、丘季子演出で送る、ほのぼのとしながらもちょっと切ない10周年記念公演。

会場：いちょうホール (小ホール)
開演：18:30 (8日)、14:00 (9日)
料金：前売900円、当日1000円 (全席自由)

問 八王子シアタープロジェクト
☎ 070 (5541) 4826

講演とシンポジウムのお知らせ

八王子市史編さん事業の 成果と課題

公文書館(機能)、公文書
管理条例を考える

日時 2018年10月20日(土) 14:00~

会場 八王子労政会館2Fホール



◆—◆—◆ 入場無料 ◆—◆—◆

第1部 講演

講師：新井 勝紘 氏
(元専修大学教授、新八王子市史編集委員会
副委員長・近現代部会長)

第2部 シンポジウム

市民アーカイブ多摩・八王子市民史を記録する会・
八王子市・新井氏とともに、八王子市における
公文書館の在り方を考える(パネラーは予定)

主催：一般社団法人 八王子自治研究センター
問い合わせ：(626) 7714

没後
400年

おお く ぼ なが やす

大久保長安講演会

12/9(日) 大久保長安の地方政策 代官、手代
たちの活躍

大久保長安講演会決定！ 高崎経済大学名誉教授の和泉
清司先生をお招きして、大久保長安の代官としての活躍
とその手代たちの動きを語っていただきます。

◇主催：大久保長安の会 ◇参加費：1000円(当日支払)
◇会場：マロウドイン八王子 ◇定員：100名 ※先着

●申込方法

①講演日 ②郵便番号 ③ご住所 ④お名前 ⑤電話番号
を明記の上、往復ハガキにて1週間前までに下記宛先までお
送りください

〒192-0082 東京都八王子市東町13-6 常澤敏彦方

※内容が変更になる場合があります

大久保長安とは…

戦国時代の終わりに八王子のまちをつくり、関ヶ
原後は全国各地で金山銀山を開発、現在の八王子
市小門町に陣屋を構えて浅川の治水対策などに着
手した、天下の総代官です。徳川家康に天下を取
らせ、その治世を支えたともいわれています。
2013年は没後400年でした。

大久保長安の会

〒192-0082 八王子市東町13-6 大久保長安の会 事務局
Tel: 090-1656-6800(おまた) Mail: tk-shoes@vega.ocn.ne.jp
HP: <http://ookubo-nagayasu.com/>

お話を聞きながら 「自分史本」を お作りします

まとまった原稿が書けない方も
スタッフが話を丁寧に伺い
自分史づくりのお手伝いをいたします



NPO法人「日本自費出版ネットワーク」
認定の自費出版アドバイザーが、親身
になって初めての出版を応援いたします。
自費出版とともに40年、安心と信頼と実
績の当社にお任せください。



株式 清水工房

http://www.simizukobo.com/

自費出版

編集から販売までお手伝いします

自分史・エッセイ・紀行文・小説・研究書・
郷土史・地域史・詩集・句集・歌集・画集・
写真集・遺稿集・追悼集・同人誌・記念誌・
社史・絵本・コミック・ガイドマップ など



電子書籍も
できます!!

NPO日本自費出版ネットワーク加盟 取次店：(株)トーハン、(株)地方小
(自費出版ガイドライン遵守事業者認定第1号)

〒192-0056 東京都八王子市追分町10-4-101
TEL.042-620-2626 FAX.042-620-2616

出版事業部 揺籃社

清水工房
創業50周年
記念企画「はちとび」
市民歴史講座のご案内

おかげさまで弊社は来年2019年に創業50周年を迎えます。これも偏にいつも応援くださる皆様のおかげと感謝しております。そんな節目の年に、弊社が培ってきた八王子の知見を市民の皆様へ還元するべく、またひとかたならぬご愛顧への感謝の意味も込めまして、このたび1年を通じて八王子の歴史をたどることができる「はちとび」市民歴史講座を企画いたしました。八王子の歴史や文化を研究されてきた、弊社とかかわりの深い一級の講師陣をお迎えし、分かりやすく解説していただきます。

下記ご参照の上、ご興味・ご関心のある方は奮ってご応募ください。

年間スケジュール (2019年)

- 2月23日(土) 多摩考古学研究会 奥山和久氏「八王子の古代遺跡」
- 4月19日(金) 滝山城跡群・自然と歴史を守る会 中田正光氏
「滝山三城から見る中世の八王子」
- 6月14日(金) 八王子城跡三ッ鱗会 野原良夫氏
「八王子城合戦を天文学的に分析する」
- 8月23日(金) 八王子市川口郷土史研究会 岡村繁雄氏
「八王子自由民権運動の底流」
- 10月18日(金) 齊藤勉氏「八王子と戦争」
- 12月13日(金) 佐藤広氏「民俗からみた八王子 — 新八王子市史の成果から」

時間 10:00 ~ 12:00

会場 八王子市学園都市センター第1セミナー室(八王子東急スクエアビル12F) ※講演内容、講師、会場は変更になる可能性があります。

受講料

- ◆ 通年受講(定員50名): 5,000円
※欠席の場合の返金はありません。
- ◆ 若干ですが、個別受講も受け付けます(定員10名、各回1,000円)。
- ◆ 先着順のため、定員になり次第申し込みを締め切らせていただきます。

全6回受講された方には
修了証を贈呈いたします。

お申し込み方法

- Step1 **受付** まずは電話・郵便・FAX・メールなどで弊社までお申し込みください。
- Step2 **振込** 弊社にて確認がとれましたら、同封の振込用紙にてお名前、ご連絡先を明記の上、ゆうちょ銀行の「はちとびサポーターの会」口座(00110-4-0514170)までお振り込みをお願いいたします。
- Step3 **完了** 参加証をお送りしますので、受講の際にお持ちください。

